

平成23年12月15日

上田市長 母袋 創一様

上田城南地域協議会
会長 田中 明

意見書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり上田城南地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	上田城南地域の自然的・歴史的資源の再認識と地域づくりの活用に関する提言
2 意見内容	<p>上田城南地域協議会では、「第一次上田市総合計画における地域まちづくり方針」に基づき、自然的・歴史的資源が多く存在する上田城南地域のいわゆる「地域の宝」を再認識・再発見し、これらを活用することによって地域づくりに繋げることを目的として調査を行い、検討・協議を進めてまいりました。</p> <p>今後の上田城南地域のまちづくりに反映していただくため、下記のとおり提言いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>提言1 「地域案内板」と「歴史的資源の現地説明板」の設置について</p> <p>提言2 公民館事業としての「地域発見講座」等の開設について</p> <p>具体的内容につきましては、別紙「上田城南地域の自然的・歴史的資源の再認識と地域づくりへの活用に関する提言」のとおりです。</p>

上田城南地域の自然的・歴史的資源の再認識と地域づくりへの活用に関する提言

1 背景と経過

(1) 第一次上田市総合計画 上田城南地域「地域まちづくり方針」

「自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全」

自然環境に恵まれているこの地域は、宅地化が進行する一方で、優良農地が保全されている地域でもあり、豊かな自然を次世代に継承していかなければなりません。

千曲川をはじめ産川や浦野川、小牧山や半過岩鼻の奇景、自然豊かな須川地区などの景観を守り、更には優良農地を保全し、人と自然との調和したまちづくりを目指します。

「歴史的・地域的資源の保全と活用」

地域の神社仏閣や市有文化財、蚕室造りの民家、更には戦国時代の武士（ものふ）の夢の跡である上田原合戦地など、数多くの歴史的遺産があります。これら貴重な遺産を『地域の宝』としてまちづくりに生かします。

(2) 地域協議会における検討

地域の歴史や風土に根ざした様々な自然的・歴史的資源は、地域への誇りや愛着を高め、また地域コミュニティ活性化を図るにあたっての、「地域の宝」とも言うべき貴重な資源です。

上田城南地域協議会では、地域社会の形成に影響した事物等で地域の誇りや住民間の連帯感につながるものや、地域の活性化を図る上で有効な自然的・歴史的資源を「地域の宝」として捉え、これを活用した地域づくりについて研究するため、分科会を設置して調査、検討を重ねてまいりました。

分科会では、まず地域協議会で過去に行った地域資源の調査・研究結果を基に、各地域に存在している自然的・歴史的資源について机上調査を行い、7回にわたり上田城南地域全域の現地調査を実施いたしました。

さらに、自治会長を通じて、各地域の自然的・歴史的資源の拾い出しと分科会でとりまとめた地域の宝の確認をいただくほか、個人所有物でコミュニティ活動に生かすことが難しい事物を除くなど、分科会及び全体会の議論を経て、「城南地域の自然的・歴史的資源のまとめ」及び所在を示す地図を作成いたしました。

また、これらの調査を機軸として、地域の宝を地域づくりに生かすための課題を検討し、次の二つの課題に整理しました。

課題1 来訪者、観光客への案内板が少ないことや「地域の宝」と考えられるところに説明板がないこと。

課題2 地域を愛し、地域を誇りに思い、地域を語れる人づくりが必要なこと。

2 提言

前述の課題を踏まえながら、次のとおり提言いたします。

提言1 「地域案内板」と「歴史的資源の現地説明板」の設置について

地域には地域づくりへの活用が期待できる様々な資源がありますが、地域の方々にも十分に知られていないものもあり、活用を図っていく上で、地域資源に関する情報の整理、共有化と、内外に発信していくことが重要です。

このため、地域の宝をとりまとめた地域全体の案内板と、個々の地域資源の誘導案内表示及び説明板を設置することを提言します。

(1) 案内板の設置

多くの住民や来訪者、観光客が立ち寄ると考えられる城南公民館、上田創造館、上田道と川の駅の3か所に、上田城南地域全体の地域資源をプロットした案内板を設置する。

この案内板は統一したものとし、観光スポット等も含めたい。

案内板を設置することにより住民には様々なまち歩きの拠点とした活用が考えられるし、来訪者、観光客に対しては城南地域をPRすることができると思います。

(2) 説明板の設置

上田原合戦で村上義清が陣を構えたと伝えられる天白山には風林火山の幟は立っているが歴史的解説等の説明板がなく、来訪者にとっては満足感が得られにくく、引いては上田のマイナスイメージに繋がる恐れもあります。

そこで、次に挙げる説明板のない地域資源に、上田市として極力統一したデザインで説明板を設置する。

【地域資源】

飯綱社、上の山の神・下の山の神、姥懐の石碑群、神畑公民館、観音寺鰐口、倉升のお水神様、荒神宮石造五輪塔、荒神宮道標、小牧城址、四箇牧神社、地藏堂、新池、須川大山祇神社、大福寺、宝池、天白山、徳本和尚名号碑(カンカン石)、避水記念碑、福田神社、古池、宮川神社、60間堤防、弓立神社

提言2 公民館事業としての「地域発見講座」等の開設について

この地域は転入者が多くこれらの人々も含め住民に城南地域をもっと知っていただき、更に愛着を持っていただければ、地域が輝くのではないかと考えます。

また、小中学生の頃に地域を知ることが、地域を愛し、地域を誇りに思い、地域を語れる人を創り出すのではないかと考えます。

そこで、次のようなソフト事業を実施することを提言します。

- (1) 地域の歴史等に精通された講師を招き、生涯学習、社会教育、健康面も考慮して、年間を通した城南公民館の講座、たとえば「(仮称)まち歩き歴史発見講座」等を開設する。
- (2) 同様に「(仮称)小中学生まち歩き歴史発見講座」「(仮称)親子まち歩き歴史発見講座」等の開設も検討する。

なお、これらの講座には添付資料「城南地域の自然的・歴史的資源のまとめ」も利用していただきたい。